

2023年11月15日
TOPPAN 株式会社

TOPPAN、自然災害をVRで体験できる「災害体験VR」の提供開始 自然災害をヘッドマウントディスプレイで体験し防災意識を高めるVRコンテンツ

TOPPAN ホールディングスのグループ会社である TOPPAN 株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:齊藤 昌典、以下 TOPPAN)は、ヘッドマウントディスプレイ(VR 用ゴーグル)で、地震/津波/風水害の3つのコンテンツが体験できる「災害体験VR」を2023年11月15日より提供開始します。

本製品は、ヘッドマウントディスプレイを使って地震/津波/風水害の高精度なVR映像を見ることができ、ブラウザで映像を見るだけよりも没入感のある体験ができます。

TOPPAN は、本製品で自然災害の恐ろしさや対処法を汎用 VR コンテンツとして手軽に体験できる本製品を自治体や学校、地域団体などに向け提供することで、体験者の防災意識を向上させることに貢献します。



津波体験コンテンツの1例

© TOPPAN Inc.

■ 開発の背景

自然災害は発生時期の予測が難しく、防災意識を保つには防災訓練や防災意識を高めるコンテンツで継続的に学習することが必要です。

TOPPAN は、これまで自治体や専門家と共に「リアルハザードビューア®」などの防災コンテンツを製作してきましたが、各地の防災イベントにおける体験者アンケートより、VR での防災訓練はリアルに近い体験ができるため、頭で理解するだけでなく記憶にも残りやすいことがわかっています。

しかし、各自治体の土地の特性に基づいた災害時の VR 映像はオリジナルで製作が必要で、膨大な費用がかかるため、大きな自治体でしか製作できずにいました。

これを受けて TOPPAN は、全国で使えて誰でも手軽に導入できる啓蒙コンテンツとして、自然災害のリスクを汎用 VR コンテンツで体験できる「災害体験 VR」を開発。自治体における住民への災害教育を支援し、防災意識の向上に貢献します。

■ 「災害体験 VR」の特長

・ヘッドマウントディスプレイを用いたリアルに近い災害体験

ヘッドマウントディスプレイを装着して VR 体験をすることで、没入感のある映像体験ができます。

TOPPAN がこれまで提供してきた危険体験安全教育用 VR「安全道場 VR™」などの製作により培った VR 表現技術により、本製品の VR 映像はリアルに近い災害の様子を再現しています。また、本製品は映像と効果音のみで構成されているため、母国語が日本語でない人も体験でき、防災意識を高めることができます。



「災害体験 VR」利用イメージ

© TOPPAN Inc.

・誰でも簡単にできる操作

ヘッドマウントディスプレイ1台で稼働できるため、PC 接続など複雑な準備・設定をせずに使用できます。防災イベントや授業等、初めて使う人でも簡単に体験することができます。

・3つのコンテンツで防災意識の向上を支援

地震/津波/風水害の3つのコンテンツを用意し、災害を疑似体験することが可能です。

■ 「災害体験 VR」サービスサイト

https://solution.toppan.co.jp/newnormal/service/saigai_vr.html

■ 価格

定価 198,000 円(税抜き)/ヘッドマウントディスプレイ1台(3 コンテンツ入り)

■ 今後の目標

TOPPAN は、「災害体験 VR」を自治体をはじめとして、学校や地域団体などにも提供し、関連受注含め 2024 年度 5 億円の売り上げを目指します。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上